SDGs達成に向けた取組みチェックリス 更　事業者名：株式会社ハイコム

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		経営理念の唱和を各拠点内で毎朝行う等、社員全員が同じ目標に進む為に取組を行っている。								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		「法令順守」の内容が経営理念に組み込まれており、毎朝の唱和により全社員に意識醸成ができている。また、更なる法令順守意識の醸成の為、定期的な勉強会を開催している。																16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		基本ルール中に情報漏洩は犯罪であり、情報の不正利用・第3者への開示は絶対にしてはいけないことを掲げ、毎日の朝礼時に全員で唱和し、周知を図っている										10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		自社活動が最終消費者へ与える影響や情報の拡散力、フィードバックを顧客様と共有し、対応担当者を定め、整備を行っている。																16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		当社が保有する知的財産保護については、IT専門部署により厳重に管理がなされている。また、取引先情報やロゴ使用については都度確認共有を行っている。								8.2 8.3	9							16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		紙情報は施錠保管し、電子情報へのアクセスパスワード等は担当者以外知りえない体制としている。またセキュリティゲートによる各部屋の入退室管理と防犯カメラによる記録も実施し、電子顧客情報などは、閲覧者の追跡ができるようにし、メモした場合はメモ紙を溶解処理にて処分するなど管理を徹底している。																16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	●		HPやSNS等を通じ、ステークホルダーへ向けたCSR活動等の対外情報発信を都度行い、情報開示に取り組んでいる。																16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●						5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。		●	令和6年5月、BCPを策定済みである。社員全員にBCPカードの配布を行い、災害等有事の際でもカードにより社員の行動の統一を図っている。									9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●									8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		当社では半数以上が女性社員で、外国人の採用や障がい者雇用を行うなど、多様性を重視している。社内においても社員全体に多様性を尊重する文化が根付いている。また社内においては差別、ハラスメント等の発生防止のため、部下・所属長との定期的な面談を行う仕組みづくりを行っている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		定期的に安全衛生委員会を開催し、労使で問題点の共有と改善のサイクルを回し、定期的な職場内巡視で、不安全・不衛生箇所の是正を行い、環境整備に取り組んでいる。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		当社には契約社員等もいるが、雇用形態にかかわらず同一労働同一賃金に則って給与を策定している。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		当社では時短勤務制度を法定よりも長い期間設け、また希望者には時間外勤務の免除等、ワークライフバランスを重視した取組を行っている。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		当社では新入社員研修のほか、以前よりメンターメンティ制度という、2か月間メンティ(新入社員)に業務取得のサポートや不安解消の支援を行うマンツーマン指導のシステムが確立されている。				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		当社を含めたグループ会社では、健康経営を行う為に健康経営優良法人の認定を取得。また、毎朝コンディションチェックを全社員向けbot配信することにより、所属長は部下の体調把握に取り組んでいる。			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		当社では、6割が女性社員で、管理職割合も増加。また、ダイバーシティを重視し、障がい者雇用や外国人雇用も行っており、社内で活躍をしている。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●				3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	業務効率化を図るため、経理業務のDX化推進をIT部署による開発主導にて進めている。								8	9.1		11	12					
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●	「第1回くまもとブライト企業賞」にて「多様な人材の活躍促進部門賞」を受賞している。			3	4				8	9			12					

SDGs達成に向けた取組みチェックリス 更　事業者名：株式会社ハイコム

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		廃棄物の指定ごみ処理業者にて、廃棄物等の適切な処理を実施している。現状有害化学物質の取扱いはないが、今後発生した場合には、有識者や専門業者を交え、管理及び処理方法の構築を実施する。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		社内照明のLED化を行い、こまめな消灯活動の促進などで電気使用量の削減を行っている。毎月、電力と水道水使用料を数字で把握し、削減（温暖化対策）に取り組んでいる。また、環境への配慮の為、社内ではマイカー通勤ではなく公共交通機関での通勤を推進している。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		毎月の電力使用量に九州電力の排出係数を乗じた数値を温室効果ガスの排出量として把握を行い、数値化して抑制に取り組んでいる。社内ではクールビズ・ウォームビズに取り組み、空調の気温を一定に行う工夫を行っている。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		生物多様性を阻害しないような場所にて営業活動を行う等、配慮を行っている。また、社内にてゴミが発生した時は必ず厳しく分別を行い、ゴミが自然へ排出されない仕組みづくりが構築されている。						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		コピー用紙の両面使用・ペーパーレス化への移行準備、プリンタのトナーや感光体のリサイクルとリユース、社員への水筒持参促進による容器ごみの削減などでリデュースに取り組んでいる。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		熊本の豊富な水資源の保全に取り組む為、水田涵養の為の田植えボランティアに参加を行っている。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）。	●		スマートファーム事業に取り組んでおり、野菜の栽培に必要な水を循環させることによって通常の農地と比較して80～90%の節水効果がある。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●		1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●												11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●													12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●										9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

SDGs達成に向けた取組みチェックリス 更　事業者名：株式会社ハイコム

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		各ショップでは定期的に取扱商品についての説明会やロープレを行い、製品やサービスについて、顧客へ正しい情報提供ができるように取り組んでいる。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン 】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		グループHPには、webアクセシビリティを向上させるツール「アクセシレンズ」を導入し、障がい者・高齢者誰もが情報取得ができる環境整備を行っている。									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●			2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	農業人口減少や異常気象による野菜の流通量の減少、価格変動問題を解決すべく、新事業としてスマートファーム事業に取組み、気候の影響を受けず、安定的に葉物野菜の生産を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		BCP策定による防災・減災活動や、台湾東部沖地震における社内からの募金寄附、田植え等のボランティア活動を行う等、社会貢献活動に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		当社ではフェーズごとにBCPを策定し、有事対応の行動指針を記載したBCPカードを社員に配布しており、最低限の被害となるように社員全体で心掛けている。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●		1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	毎年、ナイストライ（中学生の職場体験）をショップ店舗内での受け入れを行っているほか、大学生インターンシップの受入れを継続して行っている。				4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	当社人事担当者が県内大学での講義を行い、熊本県内で働く魅力アップに向けて発信を行っている。また、都市部地域においても積極的に熊本Uターン就職を促すよう、採用活動に注力している。				4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●	新事業としてスマートファーム事業を開始している。小学生の工場見学の受入れ等、積極的に食育活動に取り組んでいる。		2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17

25　25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。